

# さんぽみち

第27号

発行 岡山協立病院緩和ケア病棟  
文責 桑原和美(病棟師長)  
発行日 2017.11.24  
岡山市中区赤坂本町8-10



## ハロウィン

今年もひとあし早いハロウィンパーティーを開催しました。  
「ふるさと」や「もみじ」など懐かしい歌を歌ったり、華やかなフラダンスを見て楽しみました。  
お茶を飲みながら、かわいくラッピングされたお菓子を食べたり、記念撮影をしたり、患者様、ご家族様とすてきな時間を共有できました。最後は歌のアンコールもあり大盛り上がりでした。  
(近重 泉美)



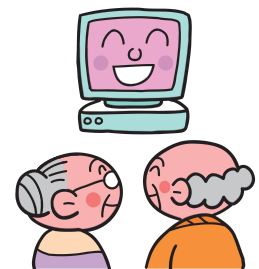
早いもので、今年も残すところあと一ヶ月となりました。  
年末も近づいてきて、色んな準備や大掃除など  
だんだん忙しくなってきましたね。  
インフルエンザも流行ってきてくるので、  
体調には気をつけて、良い新年を迎えましょう。



## 認定看護師のつぶやき

当病棟の真ん中付近にあるデイルームには、  
自然と患者様やご家族が集まります。  
座ってウトウトしている方、お茶を他の患者様と  
楽しみながら話をしている方、見たいTVを見ている方と、  
過ごし方は様々です。

ある患者様が「ここは本当の家のように居心地がいい。」と  
おっしゃっていました。  
空間の雰囲気だけでなく、人と人と触れ合えるということが  
1人の人として生活するうえで、大切なものだと改めて感じる  
出来事でした。(松本 晃美)



## グリーフケアについて

### ①湧き上がる不安や悲しみは「愛情」のしるし

人は成長するにつれて、他の人と信頼関係を築き、自立する感情を身に着けていきます。人との関係だけでなく、家庭、仕事、地位、お金、土地などの財産、自分自身の身体や健康にも程度の差はあれ、愛着を持ち、これらの愛着をいなくものを失う時に大きく感情が揺さぶられると言われています。

このように、人が深い悲しみを感じるのには、深い愛情を寄せていた人やものを失ってしまうからであり、必ずその人と物の間には親しみと愛情があるからです。

強く感情を揺さぶられ、悲しみを感じる時、「これは良くない感情だ」と、自然と自分の感情に蓋をしてしまいがちです。

悲しみを癒すためには、

1. 悲しみにより起こることについて知識をもつこと。  
…おおよその一般的症状（反応）、悲嘆の期間など。
2. 十分に悲しみ、何らかの方法で悲しみを表出して行きます。  
受け止めてくれる人の存在や自ら悲しみを整理して行く作業が必要です。信頼できる場での心の解放、悲しみを癒すための機会創出、全体的に心の整理を行うことによって、悲しみを軽減させることができます。
3. 時には、人の情けや助けをすなおに受け入れましょう。また、人さまの力をお借りしましょう。そしていつしか人生のなかでお返ししようと言う思いを失わずに生きてみましょう。（松本 晃美）



## New 病棟ニュース New

10月のとある日曜日、たこ焼き器にホットケーキミックスを流し入れて“鈴カステラ”を作りました。



あずきやチョコ、チーズを入れてコロコロ焼いて冷めないうちにパクッと一口！患者さんやご家族に人気だった具は？・・・チーズでした。甘いのと塩っ気がいい塩梅のようです。外は台風接近の大雨でしたが、病棟は甘いおいしい匂いでいっぱいでした。

（福尾 みどり）

## 職員紹介

石井 里美（看護師）



10月から緩和ケア病棟で勤務しています。緩和ケアは初心者で現在勉強中です。よろしくお願ひします。

趣味は海外旅行です。旅行中は異文化、食文化に触れ、リフレッシュして帰ってきています。

今年も行きたいです。

## 緩和ケア病棟に入院を希望される方がおられたら

まずは病棟の直通電話か相談室へご連絡ください。担当がいな場合は、折り返し連絡をさせていただきます。

- ①看護師がお話を伺い、緩和ケア外来（毎週火・金の午後、水・金の午前）を予約します。
- ②外来受診までに、現在かかりつけの病院で紹介状を書いてもらい、FAXしていただきます。外来受診時に、病棟の見学もしていただけます。

病棟直通電話：086（899）6006

遠慮なくご相談下さい。

## 「虹の会」のお知らせ



緩和ケア病棟へ入院された患者様のご遺族の会です。

次回開催：3月10日（土）

（1月はお休みします）

開始時間：10:30～12:00

場所：コムコム2階休憩室